

番号	9	
① プロジェクト名称	工学でまちの <b>楽しさ</b> を <b>創る！伝える！</b> ～エリア巡回型の地域活性化活動の試み～	
② プロジェクトメンバー(代表のみ)		
環境・建築学部 建築学科	土田 義郎	代表
③ 参加学生数(報告時点)		
学部 1～3 年次生	研究室所属学生 (大学院生含む)	外部参加者数
72	87	6
④ 活動報告 (これまでの活動、年度末のまでの活動予定、活動における課題等について書いてください。フォントは 9～11pt以内。行間は適宜。写真や図も O.K)		

(1)インフォメーションブースの制作(川崎担当)

JR 金沢駅の観光案内所に 9/16 から 10/10 まで設置するブースを設計し、制作した。ここでは、金澤月見光路 2016 を紹介するチラシなどを置き、市民や観光客に対して広報する。



(2)金澤月見光路 2016 に向けた活動(川崎、加藤、池永、宮下、土田担当)

a. あかりオブジェの制作(川崎、加藤、池永、宮下担当)

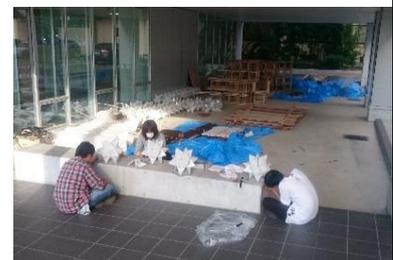
各研究室のゼミ生が中心となって様々なあかりを考案し、制作に取り組んだ。あかりオブジェの立案には下級生も参加している。

新しいカタチを考案したり、昨年の反省を踏まえた改造に取り組んだり、学年の枠を超えて精力的に活動している。



b. ワークショップの立案・実施(川崎、土田担当)

今年の月見光路では見るあかりだけではなく、作って楽しむあかりを計画している。市民参加型のワークショップの企画である。一つは「広げよう、花のじゅうたん」という参加者全員が小さな花を作り展示するというものであり、もう一つは「小夜の虹」というあかりのペンダント、ストラップを制作して、参加者に会場を歩いてもらおうというものである。参加者自身が動く月見光路となる仕掛けである。



(3)「金沢月見ゲート 2016」(鼓門プロジェクションマッピング)に向けた活動(出原担当)

金沢駅「鼓門」において実施する鑑賞型 PM「彩鳥～Irodori」、および参加型 PM「鳳凰と彩る星の花」に向けた活動を行っている。来場者のライトや体動、拍手と連動した映像を制作する。参加型 PM は星の種を育て、その星の種を鳳凰に託して街中に届けるストーリーとし、「金沢星の花ラリー～Blooming Flowers～」とも連動させる。

